

## 町内古窯跡発掘調査

今年度も発掘調査が始まりました。場所は、外尾山窯跡（外尾山）、天神町窯跡（岩谷川内）、楠木谷窯跡（泉山）の3か所です。

調査員をお見かけになったら、お気軽に声をおかけください。現場の説明をいたします。また、次号の館報ではその様子をお伝えします。

多々良の元古窯跡（黒牟田）の発掘風景



## 民俗調査

昨年度に引き続き、今年も12月に民俗調査を予定しています。昔はこうだったこと、また、昔からこうやっていることなど、町民の皆さんの生活をお聞かせください。駒沢大学の学生が調査にうかがいます。昨年同様ご協力をよろしくお願いいたします。

## 白川の細流

空はどこまでも高く美しく、秋風は心地よく…待っていた清々しい秋がやってきました。感傷的という言葉は似合わない私、元気にあちこちの催しに顔を出すつもりです。お祭りにおいしいたべもの、秋は本当に楽しいですね。もうじき資料館の楓の葉も色づき始めます。真っ赤に染まった道を歩くのも秋のひとつの楽しみです。皆さんもぜひお出かけください。（萬）

## 皿山びとの歌

有田町歴史民俗資料館報 No. 15

発行年月日 \* 平成3年 10月 1日

編集・発行 \* 有田町歴史民俗資料館

〒844 佐賀県西松浦郡有田町391番地  
☎0955-43-2678

江戸時代の力士  
五万嶽の墓

岩谷川内の墓地の片隅に、五万嶽寛治の墓があります。五万嶽寛治は肥前出身の力士で、墓碑銘から寛政6年（1795）7月14日に没し、角力中によって墓碑が建立されたことが分かっています。外尾町・善福院の過去帳に彼の記録がみられ「寛譽勇善士（戒名）」「七月十四日（没年）」「岩崎（地名）」「五万嶽（俗名）」と記されています。果たして彼は有田・岩崎の出身だったのか、たまたま岩崎で没したのか、詳細については明らかではありませんが、肥前出身であったことは当時の江戸相撲の番付表などから見ても間違いのないようです。

江戸相撲の番付表による略歴しか分かりませんが、天明6年（1786）11月の東三段目18で初めて名前が見られ、寛政2年（1790）3月の東三段目5で名前は見られなくなります。天明6年以前の番付には見当たりませんので天明6年の11月場所に付出された力士と思われます。地位も徐々に上がっていますので、かなり有望な力士だったようです。

（五万嶽寛治の調査については相撲博物館のご協力をいただきました）

## 街角の歴史